

2017

November

11

VOL. 5

ガバナー月信

Contents

ガバナーメッセージ	1
新保ガバナー公式訪問同行記	2
地区大会記念親睦ゴルフ大会報告	4
地球環境保全の為の植樹事業～上越地区	5
第17回RYLA 研修を終了して	6
IM報告(6分区)	7
クラシックコンサート開催のご案内	8
新会員座談会(続き)	9
新会員紹介・今月の予定	25
会員数及び出席報告	26
コーディネーターニュース	27
ハイライトよねやま	28
文庫通信	30

Rotary



2017-18 Rotary International District 2560



国際ロータリー第2560地区 2017-2018年度

新保ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町6-53 ホテルオークラ新潟 1F

TEL:025-222-2561 FAX:025-222-2565

E-MAIL k.shinbo@rid2560niigata.jp



「ロータリー財団月間」

2017-2018 年度 ガバナー
新保 清久 (新潟万代RC)

1917年(大正6年)6月18日、米国ジョージア州アトランタで開かれた第8回ロータリー一年次大会で当時の会長アーチ・クランフが「世界でよいことをするためへの基金を作るのが極めて適切だと思われる」と演説して、その後、この基金に初の寄付 26 ドル 50 セントが寄せられました。

それから 100 年の間に財団は、ポリオプラスで代表されるように大きく人々の改善に貢献してきましたが、リーマンショックなどで世界の金融市場が急降下し、財団の投資の市場価値も急落したことと、さまざまなプログラムが派生的に開始された結果、ロータリーの活動目標が増えすぎてしまい、2010年に国際ロータリー理事会とロータリー財団管理委員会は、教育的プログラムを見直し、改革を行ないましたが、6つの重点項目(平和と紛争予防/紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展)を学ぶ学生への支援は、強化しました。

昨年11月にガバナーエレクトの私は、東京駅に隣接するJPタワー(KITTEビル)で開催されましたロータリー学友会主催のロータリー財団100周年記念事業に参加してまいりました。

当日は、緒方貞子さんへ「学友世界人道奉仕賞」の授賞式(代理受賞)に続き、シンポジウムでは、国連やNGOに所属してエルサレムやシリア、アフリカなどの国際紛争地域で食料や医療品の配布などで活躍されている元国際親善奨学生や、元平和フェローの日本人女性5名から、大変危険で厳しい状況の中での人道的支援活動の様子をお話していただきました。お話の中で、緒方貞子さんの元部下で、現在は、国連軍縮担当トップの中満 泉さんのお話が印象に残りました。「今思えば、私がこのような平和活動のお仕事に就いたのは、ロータリーの国際親善学生に選ばれて1年間、アメリカに留学できたからです。それから30年がたち、今の仕事ができるようになりました。人が育つには、10年、20年、30年の時間がかかります。ロータリアンの皆様に心より御礼申し上げます」この一言を聞きまして、ロータリー財団は、世界の平和に貢献していると信じる事が出来ました。

10月28日、29日に地区大会が開催されました。第1日の地区指導者育成セミナーにおいて第2760地区(愛知県)パストガバナー、ロータリー日本財団理事の江崎柳節様から財団のお話を詳しく説明していただきましたが、ロータリー財団が取り組んでいる活動内容は幅広くて、この紙面では紹介し切れません。MY ROTARYで各自ご覧ください。

第2560地区の今年度の数値目標は、150ドル/人 ポリオプラス30ドル/人です。ポリオ絶滅まであと僅かです。どうかご寄付を宜しくお願いします。



「ガバナー訪問同行記」

新保年度地区幹事

丹治 芳子 (新潟万代R C)

新保ガバナー公式訪問も7月5日の長岡西クラブへの開始から10月末で38回を数えます。ガバナー公式訪問は県内56クラブをすべて回るものであり、ガバナー年度に於いて最も重要で大切な行事です。直前ガバナーに敬意を表して先ず、長岡西クラブさんから訪問を開始し、12月18日の新潟万代ロータリークラブまで6か月間かけて県内各地のロータリークラブを巡ります。

幸い、新保ガバナーは過酷なスケジュールにもかかわらず、極めてお元気で公式訪問をこなしておられます。ガバナーは勿論56クラブを全部まわりますが、同伴者は地区幹事を中心に副幹事さん達が手分けをして同行しております。

私も、すでに10クラブを同行させていただき、極めて感慨深いものがありました。大きいクラブ、小さいクラブ、大都市のクラブ、地方のクラブ、男性だけのクラブ、女性が大勢いるクラブ、歴史あるクラブ、若いクラブ等々・・・みんなそれぞれにその特徴を生かし、それぞれの地域で頑張ってロータリー活動を進めており、改めてロータリーの意義を感じました。どのクラブさんも本当にフレンドリーで温かく迎えてくれました。公式訪問同行で感じたいくつかの事柄について記してみます。

1、 草の根のロータリー活動

各クラブを回らせていただき、一番感じたことは、どのクラブさんも地域に根差して地道にロータリー活動をされている事でした。これはガバナー訪問に同行しなければ決して分からなかった事でした。

新潟万代ロータリークラブは例会場が新潟市のホテルオークラですから例会の食事はすべてホテル側がセットしてくれます。それが如何に恵まれているのかをつくづく実感しました。あるクラブさんではご年配のロータリアンが仕出し弁当を黙々と配膳しておられました。また、あるクラブさんでは新人と思われるロータリアンが汗を掻きながら、お茶出しに精を出しておられました。112年前の初期のロータリーはこんな風であったのだろうなと思いが熱くなりました。

2、 様々な社会奉仕活動への取り組み

各クラブ共に、本当に沢山の奉仕活動に取り組んでおられ、頭が下がりました。それも、ただお金を出して終わりと言うものではなく、ロータリアン自らが額に汗して、活動しておりました。沢山の奉仕活動に感激し、新保ガバナーと帰途に就く車の中で「私達のクラブも、もっと頑張らなければならないね」と何回となく語り合いました。

色々な奉仕活動が心に残りました。少年野球や少年サッカー大会の主催・後援、地域の公園や河川堤防への樹木の植樹や管理、障がい者施設への援助、地域の子供活

動への支援、フードバンク活動、スペシャルオリンピック活動への支援、火災（糸魚川）被災者への支援やコンサート主催、更生施設への慰問、海岸や湖の清掃活動。ややもすれば、ロータリーの社会奉仕活動と言えば、世間の人たちからは「お金持ちの旦那衆のエセ慈善活動」などと揶揄されることが多いように思います。しかし、私は実際に現地でロータリアンの地道な活動をこの目で見ました。決して閑人の道楽などではありません。お昼の例会に作業着のまま駆けつけて、汗を拭きながら、真剣に活動報告をしてくれるロータリアンの姿は本当に輝いていました。ロータリアンであることの誇りと喜びを感じました。

3、 人々との出会い

私はロータリー歴17年ですが、このガバナー訪問同行を通じまして多くの友人達と再会することが出来ました。同期の会長幹事さん達、米山奨学会の地区役員として出会った人達、ロータリー山の会で出会った人達、国際大会をご一緒した人達……。私がこの17年間で培ってきたロータリーの人脈の多さ、有難さを再認識いたしました。どのクラブへ行っても、誰か一人は知っている人たちがいて、心から歓迎してくれました。更には第一分区のクラブを訪れた時には多くの同級生達と再会しました。実は、私は豊栄で生まれましたので中学高校の同級生たちが第一分区に何人かいらっしやったのです。半世紀ぶりにお会いした人もいました。皆元気でロータリアンとして活動していて、本当に嬉しかったです。

4、 朱鷺の大群に遭遇

佐渡や糸魚川へは一泊りでのガバナー訪問となりました。佐渡南クラブさん訪問が終ったの宿への帰途、もしや朱鷺に会えるのではと思い会長さんをお願いして、田んぼの道を行ってもらいました。いました！なんと十羽ほどの朱鷺の大群が、田んぼで落ち穂を啄んでいるところに遭遇したのです。一斉に空に舞い上がった朱鷺の群れは鳥肌が立つくらいに美しく感動的でした。又、糸魚川訪問で泊まった笹倉温泉の泉質の良さにも大感激。大火災の跡地にも案内して頂き、ロータリアン達を含めて再建に向かい頑張る市民達にお会いする事が出来ました。各地のロータリアンの皆様、本当に有難うございました。ガバナー訪問も折り返し点を過ぎましたが、これから回るクラブの皆様宜しく願い申し上げます。





「2017-18 年度地区大会記念親睦ゴルフ大会報告」

地区大会記念親睦ゴルフ大会実行委員長
佐藤 忠衛 (新潟万代 R C)

2017年9月27日(水) きれいな秋晴れの中、紫雲ゴルフ倶楽部にて登録者総数360名(競技者数333名)で開催させて頂きました。

スタート前にて、各クラブごと、新保ガバナー、古閑美保プロと一緒に記念撮影をして頂き、ゴルフ大会の良き思い出とさせて頂きました。

また、今大会では競技者全員にチャリティーワンオンチャレンジにご参加頂き、皆様の温かいお気持ちに心より感謝申し上げます。

チャリティー金は、国際ロータリー「ポリオ撲滅」に寄付させて頂きます。

今大会は、多くのご参加を頂きました。一部上位者の成績を載せさせて頂きます。

個人の部

優勝	白根 R C	滝沢	一浩
準優勝	三条北 R C	佐藤	義英
三位	新潟西 R C	神初	周吉



団体の部

優勝	白根 R C
準優勝	三条北 R C
3位	中条・胎内 R C





「地球環境保全のための植樹事業～上越地区」

社会奉仕委員会副委員長
田鹿 紀之（新潟南RC）

「全世界でロータリー会員数の植樹を行おう」、という 2017-2018 年度 RI 会長イアン HS ライズリー会長の提言により、2560 地区でも 2,100 本の植樹に向けて事業を開始しました。

今年度中に 4 回の事業計画の第一回目として、さる 10 月 7 日（土）に、新潟県上越市板倉区国川地区において植樹を行いました。

前日までの雨も当日の朝にはあがり、薄日の射す心地の良い気候のなか、上越地区のクラブを中心に 12 クラブから 51 名の会員が参加しました。

田中正晴直前ガバナーのご挨拶のあと、ご協力いただいた地元の方からの手ほどきを受け、全員で山桜、ナナカマドなど 30 本を手植えしていただきました。

また本事業の記念として地元町内会長から贈呈された標柱を、田中直前ガバナーから打ち込んでいただき、2560 地区の事業としての証となりました。

今回植樹した場所は、平成 24 年 3 月に発生した大規模な地滑りの跡地で、地元町内会が中心となって国、県の支援を受けながら復興に取り組んでいる地域です。

今回の植樹がその復興の一助になれば大変喜ばしいことでもあります。

なお今後は平成 29 年 10 月 26 日（木）に十日町市において、平成 30 年 3 月に新潟市、5 月に村上市で植樹事業を実施する計画です。



「第17回RYLA 研修を終了して」

青少年奉仕委員会ライラ委員長
尾田 一 雄（新発田城南RC）



10月14日～15日 胎内市にあるロイヤル胎内パークホテル、胎内アウレッツ館においてライラ研修が執り行われました。当日は秋空のもと8時に集合したホストクラブのメンバーは緑色で統一したスタッフジャンパーで気持ちの良い朝の空気を吸い張り切っていました。ホテルの前では当日農産物の販売を伴う別のイベントも行われるという事で、賑々しくなる予感と本番が来たという緊張感が漂っています。



さて、今回の参加者は研修生が76名、ロータリーアン66名、それに新保ガバナーと関係地区役員が参加しての大変大勢な研修会となりました。ホテルの会場はコンベンションホールを2～3か所に時間差で仕切る設営で、開会式場、食事ホール、研修会場としましたが研修会場のみ固定で二日間の主会場となりました。

今回の研修テーマは「より、気持ちの良いまちづくりを求めて」とし、自分の住むまちの生活環境問題や不満を講師の安藤頌太郎氏と共に個別にディスカッションを通じて解決策を引き出すと言うもの・その為 研修生それぞれが抱える問題点を事前に把握するためにアンケート式レポートを提出してもらった訳です。

研修室は講師を取り囲む馬蹄形の研修生席に講師がアプローチしやすい動線を考えて通路を取った配置、心理的壁を設けないようにと机もマイクもない、椅子だけの設営でした。講師が全員に問いかけ、直接親しく研修を行いたいとの希望は流石に時間のかかる設定となり、その為オリエンテーション1時間、初日の研修時間4時間、翌日の研修2時間、計7時間と2日間の研修日程の大半はこの時間で占める計画となりました。

実を言えば当初この計画は実際研修生と長時間の話し合いの噛み合わせが上手くゆくのかという危惧感が有りました。しかし流石 経験豊富な安藤講師は、歯に衣着せぬトークとユーモアで研修生の考える問題に素早く実証的限界の話を紹介、其の上で具体的解決の話を進め、又 次に移るとい手法で見事に全員とトークをやり終えました。頭の切り替えは容易に切り替わらない、インパクトのある言葉で少しでも早く本当の問題点に気づき、目覚めてもらいたい。そして大切な事は自身の行動が大切だ！これが折角参加した研修生に何としても伝えたい講師の真意であった様で研修最後の頃には私のみならず会場の大半がそれを感じた事でしょう。

初日研修からの解放された懇親会でのフラダンス、そして研修日最後に先生が提案した五本締めの手締めで目出度く全ての研修を無事終了 ある意味、長い二日間のRYLA研修でした。





第6分区IM報告

「第6分区 IMを終えて
～ Innovation and Sustainability 「変革と継続」 ～」

第6分区ガバナー補佐
星野 輝征（雪国魚沼RC）

去る9月10日、南魚沼市ホテル坂戸城にて2017-18年度第6分区IM（Intercity Meeting）を盛会のうちに終了することが出来ました。総勢71名のご参加をいただきました。ご参加いただきました皆様に心から御礼を申し上げます。また、前日の9月9日には秋晴れの十日町カントリークラブに37名のロータリアンが集い、IM親善ゴルフ大会を開催いたしました。



基調講演に、(株)自遊人 代表取締役プロデューサー、里山十帖クリエイティブ・ディレクター 岩佐十良氏をお迎えし、「魚沼地域の変革と継続のために必要なこと」をテーマに講演をしていただきました。時宜を得たお話に皆さん真剣にメモを取りながらご聴講頂きました。

次に、各クラブの活動報告を行っていただきました。地区のテーマでもある「クラブと地区の変革をめざそう」を念頭に、IMのテーマを～Innovation and Sustainability「変化と継続」～とし、各クラブ会長より、社会奉仕活動を中心に、パワーポイント使って発表していただきました。近隣のクラブなのに、初めて聞くお話や、人しれないご苦勞、また活動の後の充実感などなど、改めてそれぞれのクラブの活動を区内のメンバーで共有できたと思っております。



懇親会では、クラブ単位のお席にせず、テーブルごとに対談ができるように工夫をしました。前段の基調講演、活動報告会の話題になり、これからのロータリーのあるべき姿や、クラブの活動のあり方について、皆さんで大いに語り合うことができたと思っております。

以上 簡単ではございますが、第6分区IMのご報告とさせていただきます。



国際ロータリー第 2560 地区 義援金 による

クラシックコンサート 開催のご案内

昨年末に発災いたしました糸魚川駅北大火に際し、地区内のロータリアンの皆さまから多くの義援金を頂戴し、厚く御礼申し上げます。これまでも、糸魚川ロータリークラブ並びに糸魚川中央ロータリークラブ両クラブが主催して、被災者支援の事業を展開して参りましたが、この度、被災者の皆さまにもご参加いただき、被災者の皆様から楽しんでいただくとともに、チャリティーを目的としたクラシックコンサートを、下記日程で開催する運びとなりました。また、糸魚川市並びに糸魚川市教育委員会からも、本コンサートの主旨にご賛同いただき、共催となります。

本コンサート開催においては、平素から新日本フィルハーモニー交響楽団の団員によるアンサンブルコンサートとして両クラブの主催で実施して参りましたが、同団員の皆様からもご協力いただき、総勢 30 名を超える編成を組むことができることとなりました。当地域においては、オーケストラの公演は、滅多にない機会と、皆様の好意と友情をもって、このような事業を開催できることに深く感謝申し上げますとともに、被災された皆様と管弦楽の夕べをお楽しみいただきたく、ご案内申し上げます。

記

日時：平成 29 年 11 月 23 日（祝・木） 16：00 開場

16：30 開演

場所：糸魚川市青海総合文化会館（きららホール）

〒949-0305 新潟県糸魚川市大字青海 4657-3

Tel. 025-562-2223

お問い合わせ／糸魚川中央 RC 事務局（糸魚川商工会議所内） Tel. 025-552-1225

以上

【 月信3・5号(9・11月号)特別企画 新会員座談会 】



日時:2017年8月19日(土)12:00~14:00

場所:新保ガバナー事務所

参加者:丹治芳子地区幹事、千田芳資筆頭副幹事、
長谷川淳一広報担当副幹事
各分区推薦会員(敬称略)

分区	氏名	RC	入会年月日	職業分類	ロータリー一歴
第1分区	小野 和成	中条胎内	2015年4月3日	産業廃棄物運搬処理業	2年4ヶ月
第2分区	熊倉 正志	新潟万代	2016年7月4日	総合建築業	1年1ヶ月
第3分区	市川 進一	新津	2014年8月27日	学校教育	2年11ヶ月
第4分区	木村 譲	三条南	2014年1月6日	IT関連事業	3年7ヶ月
第5分区	西山 孝行	柏崎東	2016年5月26日	金属部品加工	1年2ヶ月
第6分区	小野塚 徹	雪国魚沼	2017年1月16日	管工事業	0年7ヶ月
第7分区	建部 進	糸魚川	2015年7月2日	精油製品販売	2年1ヶ月

月信9月号より続き

丹治地区幹事

市川さん、良かったな、と思うようなことございますか？

市川さん

実は入ってから2年ほどの間、
ホントいいことないな、と思ってたんですが、
自分でもよくわからなかったんですけど、
情報が入ってくるんですね。
いろんな地域の情報。
私は今、大学で働いているんですけど、
情報がないとなかなかね。いろいろと大変なことがあります。
それとお願いしていいんですね。

お願いすると何でもやってくれるんですね。
特に年配の会員の方は。非常にいい方が多くて。



丹治 地区幹事



第3分区 市川 進一 さん

例えば、こういう植物が研究に要るんで、
 ちょっと採取方法が知りたい、って何となくボソツって言ったら、
 何人かの方が調べてくれて、非常に助かった、という経験があります。
 おそらく、こちらからお願いすると、
 気持ちよくやっていただけるんですけど、
 こういうことを日常的に考えてなかったの、
 ただ最初のうちは大変なだけだなと思ってました。
 今では非常に助かってます。ホントいい先輩方ばかりで。
 非常にラッキーだったな、と思ってます。

丹治地区幹事
 西山さんはどうですか？

西山さん
 そうですね。
 柏崎東は歴史があるクラブで、
 ホントに歳いった方もおられて。
 そういう中で、ざっくばらんに話させてもらえる環境だと思っています。
 いい環境にあるな、とは思っています。
 こういった中でホントにみんな気楽に参加できる環境ではあるし、
 また、異業種との交流の場ということで、
 いろんな情報を得られる場かな、と思って、
 2年目でついに来た、って言うのも変ですけど、
 話の仕方、捉え方の要領がわかってきたのかな、と思ってます。



第5分區 西山 孝行 さん

丹治地区幹事
 熊倉さん、我々同じ新潟万代で
 言いにくいこともあるかと思うんですが、
 どんなですか？

熊倉さん
 私は「職業を通じて奉仕」っていうのは、
 会社を代表して出てますから、そう思ってやっています。
 そんな中でロータリークラブの先輩の方々も、
 みんな誇りを持ってやってらっしゃるんで、
 同じ仲間になった人にはすごく好意的に見ていただくんですよ。
 新潟市のロータリークラブの会員名簿があるんですけど、
 これを見て、例えば、いろんなところへ行ったりしたときに、
 あ、この方はロータリークラブ入ってらっしゃるんだな、と
 話しかけるとやっぱり、すごく好意的に迎えてくれるんで、
 そういう部分では、職業的にもすごくメリットあったな、と。



第2分區 熊倉 正志 さん

単純に広がるのは会社にもすごく貢献してるな、と思ってます。
そして、また、万代は大変やさしい方が多くいますから、
いろんな役割を与えていただいて、すごく助かってます。

小野さん

うちは「ゲゲゲの一座」という劇団を創りまして、
ゲゲゲの鬼太郎のコスプレで、手作りの衣装作って、
幼稚園のみんなの前で劇をしたりとか、何回かやりました。
セリフは録っておいて、あらかじめ。
それに合わせて、動くだけなんですけど。
結構喜んでいただいた。
練習する段階でもそうやって、親睦の意味もあって、
楽しいですね。そういうの。



第1分区 小野 和成 さん

木村さん

それは年に何回ぐらい、皆さんの前でやりますか？

小野さん

社会福祉の一環で、幼稚園児を外を散歩させる、
乳母車みたいなのを贈呈します、と。
その時に合わせて園児の前で披露したりとか。
年1回か2会ぐらいですね。



第4分区 木村 譲 さん

今まで、2・3回公演しました。

丹治地区幹事

どこで練習するんですか？

小野さん

ま、いろいろそれぞれ。
葬儀屋さんをやっている方の
葬儀場を借りたりとか。



丹治地区幹事

なんか、他にクラブ、社会奉仕しているようなところないですか？

熊倉さん

万代でもやってるんですけど。アルミ缶集め。
私はそれを積極的に取り組んでいます。
会社で飲んだジュースのアルミ缶を集めて、
障がい者施設に持ってくとすれば収益源になるということで、

それで月末の例会の時、それを担当者が施設に持って行くんですけど、
会社で飲んだ空き缶を水で洗って、それを袋に詰め手行くんですけど。
「何してるんですか？」ってみんなに言われるんですが、
「これがロータリークラブだ」という(笑)。
いつか、これの代わりに誰かやる時は、これをやるんだぞ、と。
最初はみんなコーヒーの中に、コーヒーが残ってたんですけど。
それがみんな洗って捨ててくれるようになりまして、
少しはわかってきてくれるな、と。
個人的には、狙ってやってるんです。すごくいい活動です。
ぜひこれは会員に浸透させないとけないな、と。

丹治地区幹事

糸魚川さんなんか

結構奉仕活動やられているんじゃないですか？

建部さん

そうですね。糸魚川は、一人暮らしの昼食会だとか。
あとは縄文の里の草刈りですね。
あとは姫川のゴミの収集だとか。
あとは、11月のフィルコンサートですかね。
これは大きなイベントなんですけど。
結構それはお金をかけてやっております。
今年最近やったのが、
たまたま大きい火災があったものですから、
災害に遭われた方たちを集めて、懇親会。
昼食会みたいな形で、大きくやらせていただいています。



第7分區 建部 進 さん

丹治地区幹事

そういう時、新入会員って割と駆り出されませんか？
一番若い人たちって。第一線で働けて言われますでしょ？
体力もあるし、気力もあるし、っていうことで。

小野さん

準備とか、いろいろ設営をしていく段階で、
いろんな人とふれあったりとか、
きっかけづくりになっていく。

建部さん

一人暮らしの昼食会なんか、会員の中から、
例えばテッシュペーパーとか、タオルとか、
家で使わないものをみんな集めて、持ってくるんですけど。



だけどやっぱりお歳をとられた方には、
そういうものでも非常に貴重なのか、喜びが大きいってことで。
だから、僕らも普段貯めて出すようにしてるんですけどね。
そういうわずかな、そんなに喜ばれないかな、と思うものでも、
みんな喜んで、トイレトペーパー1つでもみんな喜んでいただいている。
なので私たちも喜びが大きいです。

丹治地区幹事

はい。じゃあ、いろんな活動に
新入会員が率先して参加してらっしゃるようなお話をお聞きして
大変うれしかったんですけれども、
このような懇談会を開いて、一番のメインというのは、
これからのロータリーって、こうあったほうがいいんじゃないかという話
だと思います。

あるいは、地区ですよ。今ちょうど、新ガバナー年度ですが、
新ガバナーのお考えも旧態依然としたロータリー活動から、
多少ステップアップして、大胆に「変革をしましょう」ということになってます。変えてはいけないもの
と、変えなければいけないものを、
よく考えましょう。ということ提言されてるんですけれども、
そういう意味合いで、これから、ここをこうしたらいいんじゃないかな、
というようなことを若い感覚で発言していただきたい。
我々ぐらいになると、過去の脳を引きずってますから、
なかなか新しい感覚が出てこないんですけども、
入会歴が浅いってことは、いろんな多様な考え方があると
思いますけども、何でも結構ですので、自由にご発言お願いします。
入会歴の浅い方々は、我々が思いつかないようなことを
思ってくださいるので、非常にそういうご意見は歓迎するんですが、
一番入会歴の若い、小野塚さん、どうですか？

小野塚さん

まだ入ったばかりで、
今がどうなってすらわからない中で。

丹治地区幹事

いいんですよ。その感覚がいいんですよ。

小野塚さん

職業を通して、社会奉仕につなげましょう。
という根本は好きで、これは大事にしていくべきものなのかな。
変えてはいけないものなのかな。
奉仕とかボランティアっていうものは、



第6分區 小野塚 徹 さん

それぞれの余力を集めて成り立つものだと思ってて。
 自分を犠牲にしてまでやるようなものではない。と思っています。
 職業一生懸命やって、その中で生まれた余力を
 ほかにまわすのが正しいな、と考えています。
 そこは変えずに維持してほしいな、と。一会員として思ってます。
 私よりもっと下だともっと全然変わった考え方だと思うので、
 なんとか門戸を広げることが必要だと思います。
 その方法っていうのは、まだよくわかんないんですけども。
 希望としては、さっき主婦の方っていうか、会員を増やすための手法で、
 そういう広げ方っていうのは、
 ちょっと余力がないのにボランティアに参加する。
 アメリカなんかだと、そういう雰囲気のところあって、
 逃げ場としてボランティアに参加してる人が結構いるんですよ。
 それだと、誰かに歪みがでてきちゃうと思うんで。
 職業を一生懸命やって、というところをもっとアピールしていいのかな、と。
 「お金に余裕があるんでしょ」と言われるかもしれませんが
 「一生懸命余裕作ってがんばってたよ」と言ってみようかな、と。

丹治地区幹事

その門戸を広げる術は何だろう、というのが、
 みんな頭を悩ませているんですけども。
 どうしたら、今までの旧態依然とした
 ロータリーから脱却できる切り口ってないでしょうか。
 我々のような老化した頭ではなかなか想いつかなくて。
 若い方、どうですか？小野さん、どうですか？

小野さん

認知度を上げていく。

丹治地区幹事

認知度ね。認知度に関してはなにかやるんでしたね。
 22日に、広報公共イメージ向上委員会っていうのを、
 やるんですよ。せっかくいろんな活動してるのに、
 一般の人にわかっていない。それを改めましょう。
 どんどんアピールしていきましょう。ってことです。
 たまたまロータリーには、新潟市にある NHK も含めたテレビ局全社、
 それから、新潟日報が全部会員さんなんですよ。
 社長さん、それに準ずる方々にお集まりいただいて、
 とにかくロータリーのことをアピールしてよ、と。
 例えば、新聞社でしたら、ロータリーのこと書くわけにいかないですから、
 行事とタイアップした形、例えば具体的には、

新潟南ロータリークラブさんが、鳥屋野潟の清掃をやったんですよね。
それをBSNに事前取材を依頼して、記者が来られて、
BSNの5分ぐらいの放送の中で。
富山さんという会長が、
「私たちは、こういうことをやってるんです。どうぞロータリーに興味のある方はご入会ください」と
言っておられたそうです
そういうことをどんどん進めようと思っているんですよね。
いろんなところで、いろんな地域で、
有益な活動やってらっしゃるんですよね。
海岸清掃であるとか。植樹をしたりですとか。今回は地区でも植樹やりますけれども、その時も当然、マスコミにアピールするつもりです。
できれば県知事も呼び出して、植樹をするのを、どっかで記事にしてもらおうかな、と思っています。
地区も積極的にイメージ戦略を高めようと思っていますので、
特に広報を担当していらっしゃる方があれば、
そういうものがあれば、ぜひ地区にご相談くだされば、
各テレビ局なり、新聞社のほうに「こういうのやるから、どうぞ」と働きかけます。
全部採用してくれるとは限りません。あまりニュースがない時に出来ます。
大きいニュースがあると、ロータリーの清掃活動なんか出してくれません。
ネタ切れの時にポコッと出してくれますんで。
メディア戦略も含めて、ロータリーをアピールしていきたいなと
思うんですよね。何か、ネットでもアピールの仕方、ないですかね？
今、ネットも、ホームページも充実しようってことで、やってるんですけどね。

木村さん

そうですね。たぶん、ロータリーのホームページなんてのは
会員の人が「今日、例会だったけ？」と見るぐらいが、
関の山かなと思います。週報をうちのクラブは載せているんですけど、
たぶん、そこで見ている人は、相当少ないんじゃないかなと思います。
本当は計測もできるんですけど、計測するとみんなショックを
受けるかもしれないから止めようかなと思います。

丹治地区幹事

でも新保ガバナー、2万アクセスを
目標にするって言ってましたよ。
これは8月号のガバナー月信なんですが、
結構面白そうなのが載っているんですよ。たぶん、皆さんの中に見てない人が
いっぱいいると思うんですが、満足度調査だとか、
地区事務所とガバナー事務所が、今度、地区事務所に固定化しますでしょ？
それについて、私も随分力を入れて
3ページぐらい書いてるんですよね。
これを持って行って、ガバナー公式訪問の時に

読んでますか？って聞いても、1人か2人ですよ。
帰ったら読んでくださいね。って言ったんですけど。
書く人はすごく一生懸命書いてるんですけどね。
何なにをやりました。これをやりました。
って言ったって誰も読まないんですよ。
報告だけじゃね。「ああ、そう」ぐらいで読む気ないんで。
いろんな新しい試みをしていこうと思うんですけど、
読んでくれないことにはどうしようもないですよ。
どうしたら読んでもらえますか？

木村さん

たぶん、今日集まったメンバー、9月号見に行きますよ。
公式訪問とか、その様子をいついつ載せます。みたいな。
自分たちが載ってるのを期待すると
見に行くと思うんですけどね。

丹治地区幹事

そうですね。確かにね。
マスコミっていうか、そういうものを利用して、
ロータリーの存在感を高めていきたい。
っていうご意見だったと思うんですよ。
そのほかにも、何かこうやってほしいよ。とか、そういうご意見ありましたら。

熊倉さん

会員名簿って、みんなが見れるように
なってるんですっけ？

千田副幹事

見れないと思います。

丹治地区幹事

あれも問題あるんですよ。
人手に渡るんですよ。
そうすると、わけのわからないところから
アドレスなんか書いたりすると、変なのがいっぱい来ますよね。
ほかの分区はどうなってますか？分区ごとのこういうものとか
私らですと、新潟市内の共通名簿があるんですけど。
皆さん、ありますよね？

あります。



千田 筆頭副幹事

熊倉さん

いろいろな職業の人たちの名簿が1つになると。

丹治地区幹事

それはすごく役に立つんですね。

熊倉さん

すごく役に立つんですけど、
これは市内だけしかないんで。
県内共通となると、すごく便利。

丹治地区幹事

あと、私も最近やったんですけど、
「マイロータリーに登録してください」。
マイロータリー、今登録してらっしゃる方、
手を挙げてください。

木村さん

登録って、面倒くさいんですね。

丹治地区幹事

やっぱり、これからの未来のロータリーって、
どうしてもそういうもので、つながっていくと思いますので、
ぜひ登録をお願いしたいですね。

小野さん

登録してみたんですけど、
まだあまり見ても意味がわからない部分が多くてですね、
立ち上がりもちよっと遅いんで。
同じクラブの会員から「お前マイロータリーどうした？」
って聞かれるんですけど、
「登録したんだろ？」って聞かれるんですけど、
何と答えていいかわからない。
マイロータリーとは何だ、って誰にもわからない。

丹治地区幹事

正直、いろんな情報が入ってくるだけなんですよね。
その情報、わかる人が見れば興味あるんですけど、
申し訳ないけど、新入会員2・3年の人が見ても関係ないわ、って思うようなんですね。
だからマイロータリーの側にも改善してほしい、っていうか。
興味深い記事を発表してほしい、ってありますよね。



IT 関連の話が出たんですけど。
 時間ももう少しなんですけれども。
 やっぱ、地区にこんなふうに取り組んでほしいという
 ご意見ないですかね？
 こんなことをしてほしい、だとか。こんなのはどうですか、だとか。
 まずガバナー月信は、長谷川副幹事が今がんばってやるそうなので。
 じゃあ、面白い月信にしようよ。
 っていうことから、こんな会も始まったから、
 すごく別な意見ってすごく大事だと思うんですよね。

丹治地区幹事

自分のクラブに慣れるのが、まず今精一杯の状況ですよ。
 地区っていわれても、地区ってどこにあるんだ。っていう話ですよ。
 それはごもっともだと思います。
 ただ私が何でそんなこと言ったかと申しますと、
 今年から試用の期間なんですけども、
 地区事務所とガバナー事務所とが、分かれるんです。
 今までは全部ガバナー事務所、
 ガバナーエレクト事務所でやってたんですけども。
 今年はここに、もう少ししたら2560地区事務所って看板が出る。
 今は新保ガバナー事務所になってます。
 ここに並列して出ます。2つあることなんです。
 実際今、みんな兼務しているみたいな形になりますけど、
 そして来年、三条から、川瀬さんがガバナーになりますけど。
 そうすると、ガバナー事務所は三条に行っちゃうんです。
 ここは、そのまんま地区事務所になるんです。
 ガバナー事務所と、地区事務所と、もう1つエレクト事務所
 っていうのができます。
 この3つの関係をどういうふうにするか、っていうことで、
 今いろいろと、地区運営改善検討委員会ってところで
 いろいろ協議をしているんですけど。
 すべての統括はガバナーなんですけど、
 簡単に言えば、地区事務所というのは、
 いろいろな委員会、青少年米山財団。社会奉仕、国際奉仕、
 そこら辺が全部地区でやりますし、
 それから、ガバナー事務所というのは、
 4大大会って言われるものですね。
 PETS、地区協、地区大会、ゴルフ。この4つ。
 簡単に言えば、そういうふうに分かれてきますけども。
 ガバナー年度っていうのは、1年1年変わるじゃないですか？
 くるくると変わりますよね。



それに対して、地区事務所ってずっと続くわけですから、地区の大きな基本方針とか、大きな流れとか、そういうふうなものは地区で把握します。

私がさきほど「地区にご意見ありますか？」って言ったのは、そういうことを前提にして皆さんに、地区のあり方として、お聞きをした、ってことなんですよね。

入会歴が浅いということは、まず自分のクラブに慣れて、自分のクラブのいろんな仕事、与えられた仕事、それをとにかく一生懸命やる中でいろんなことが見えてくるんじゃないかと思います。

皆さん、それぞれ、いろんなところに携わっていらっしゃるみたいですけど万代の場合は、割と新人は親睦に入りますね。

千田副幹事

皆さんもそうじゃないかな。

親睦委員会で、顔もよく皆さんとつながるように。

丹治地区幹事

誰でしたっけ？

SAA って、おっしゃった人いましたよね。

建部さん

SAA やりました。

去年ね。



丹治地区幹事

普通 SAA って、

結構、普通年配の方がやる職務っていうふうな意識があったんですけど。

それは昔の感覚ね。

みんな、若いです。

丹治地区幹事

監督ですよ。会場監督。

「お前、気をつけなさい」みたいなこと言いますか？

建部さん

そういうモードじゃないですよ。

全然、和気藹々で。

丹治地区幹事

例えば、バッジを付けてこなかったら、
「付けなさい」とか、「私語を慎みなさい」とか。それがS. A. A。

建部さん

チェックなんかしてないですよ。
バッジのチェックなんかも。
チェックするべきなんですかね。

熊倉さん

怖かったですよ。
怒られましたからね。借りるんですよ、貸し賃100円とかで。

丹治地区幹事

会場監督って、すごい権限持ってて、
怖かったですよ。



木村さん

それ、よく長老の方が「昔は厳しくやったんだ」
とかっていう話を聞いたんですけど。それを言える雰囲気じゃないな。
と思いますよ。

丹治地区幹事

入って2・3年の方は、なかなか注意はできないよ。と思ったんですけども。

建部さん

注意するようなことは何にもないね。

丹治地区幹事

メーキャップ行きたい人とか。ご案内するとか。なるほどね。
皆さん、これからいろんなところで
ご活躍をされていくんだと思うんですけど、
はい。いろいろと、貴重なご意見を賜りまして、
大変ありがとうございました。

千田副幹事

これからも皆さんとどっかで顔を合わせたりするかと思うんですけど、
いろんなクラブに顔を出していると、また楽しいことが増えてくるといいますんで、
機会があったら、いろんなクラブに行ってください。
なかなか行けないかもしれないですけども。
メーキャップでなくても友達がいたら行ってみるとか。

それもまた楽しいですよ。

丹治地区幹事

私が入会した頃には、地区幹事なんていうと、ホント雲の上の人で、ハハーっ、みたいな感じだったんですけど、それじゃダメだと思うんですよ。みんなで作っていくわけですから、もうそういう感覚で、ロータリークラブでは、私は運営はしていけないと思うし、やっぱり、みんなで作るガバナー事務所、ガバナーエレクト事務所、それから地区事務所であってほしいな、と私は思うんですよ。

分区ごとに、これからは持ち回りでガバナー出てきますからね。だから、その時は分区で支える体制を取らないと。たぶん、ここに出席している方々が中堅になってガバナーが出た場合には支えていく年代になるかと思しますので、これからのロータリーにとっての中核部隊としてがんばっていただければと思います。

またここにお話に出た貴重なご意見は、新保ガバナーにもお伝えしますし、長谷川副幹事ががんばって編集をして、来月号に載せるそうですから、どうぞ、お楽しみにお待ちください。

長谷川副幹事

せっかく皆様方が集まっていたいたんで、これ、ガバナー月信でアピールする場なんで、それぞれの座談会としての発言はいただいているんですが、一人ひとりのご意見はいただけてないんで、できましたら、一人ひとり何でもいからご意見言って、すべて顔写真入りで載せますんで。



長谷川 広報担当副幹事

丹治地区幹事

じゃあ、座談会としてはこれで終わりますので、どうもありがとうございました。

小野さん

今回第1分区代表として参加させていただきました。

いろいろな、これからロータリークラブは変化していくと思うんですけど、変えていかなきゃいけないところと、また変えなくて守っていかなければいけない部分を考えながら、がんばっていきたいと思います。

熊倉さん

ライオンズクラブは引っ張られてドーンとやる。

ロータリークラブは職業を通じて奉仕するっていう、ひとつの大きな理念があるわけで。

その理念を2,560地区でつながることによって、
その理念が叶えられると思うんですね。
そうするためには、いろいろ問題あるかと思うんですけど、
できたら、会員名簿を共通で1つにしてみようと、
いろんなつながりが深くなるし、
その奉仕活動も深まると思うんで、ぜひ、そんなふうに。
なんとかしてもらいたいな、と思います。
あとはEクラブのメーキャップって、すごくいいな、と思います。

市川さん

1つはやっぱり、会員が減っていきますと、
クラブとしてやっぱり、やれる活動が減っていく
っていうのが、私たちのクラブにもありまして。
じゃあ、どうしたら会員が増えるか、っていう話になるんですが。
私個人としてはやっぱり、出やすいクラブの場。
今年の新津クラブは、夜例会を入れて、参加しやすくしますけど、
いろんな立場の人が例会に参加しやすくすること。
あとはこれを言っているかどうかわかりませんが、
会費が少し高い気がしております。私は大学の教員ですが、とても
あの額はなかなか払えないので。
もし会員に大学教員を増やしたいのであれば、
下げる算段をしていただけると、と考えております。

長谷川副幹事

会費が高いとか、
そういう生の声が今日ほしかったんですね。
ホントに思った通りのことをぜひ言っていただければと思います。

木村さん

今日初めてこういう場に来て、
比較的、1・2・3年の暦の浅い人の話を聞くと、
僕も確か入って1年ぐらいは、ホント辞めたくてしょうが
なくて。
どうゆう理由で辞めようか考えながら、1年半ぐらい過
ごしたんですよね。
結局、何らかの役職が与えられたので、
じゃあ、もうちょっとやってみようか。みたいなの。
結局、与えられると、出る機会も多くなって、
みんなとしゃべる機会も多くなって、出やすくなった、っていうのは
何となく記憶にあるので、今日も頼まれて、なんか、土曜の昼間に、
しょうがなく来たこともあって。



でも、出ると、楽しいなって思いました。
個人的にはですね、夜例会はもうちょっと多くてもいいかな、
って思いました。
うちのクラブはたぶん、年に4回ぐらいやるんじゃないですかね。
2カ月に1回くらいあっても悪くないな、と思います。

西山さん

ホントに入って1年間、
とりあえず出てみなきゃわかんないな、と思っていたので、
とりあえず、例会出れるように調整しながら、1年間、出してみました。
入った中でいろいろな人と交流ができたのは良かったと思ってますし、
またホント今日この場でいろんな地区の皆さんと、
いきっかけだったかと思います。そういう中で、これから
いろんな人とつながり持てて自分にプラスになれるように。
お互い刺激になれるようにまた参加したいな、と思っています。
1年経って、なんとか歌も覚えて、って感じですけど、
いろいろ楽しめるように、自分もまたモチベーション上げながら進めていければな、と思っていま
す。

小野塚さん

ロータリークラブ入れてもらったので
会員の立場になってるんですけど。
今度は周りの人に、ロータリークラブって、
「何やってんの？」って聞かれたら答えられる。
「何が楽しいの？」って聞かれたら答えられる。
っていうところを個人的には目標に関わっていかうかな、
と思います。今のところ暗いトンネルの中を行ってるような状態で、
何が先にあるのかな、ってというのが、全くわかりません。
その中で、こういう会合に出させてもらったり、
いろんな話を聞かせてもらったりしている中で、
疑問というか、聞いてみたいと思うのは、
関わられている方は、どういうモチベーションで、
何が楽しいのかな、っていうのをひと言で言えるのかな、って
聞いてみたいですね。それが刺されば、ついていけるんだろうし、
その辺探っていこうかな、っていう状態です。
飛ばしすぎず関わっていかうかな、と思っています。



建部さん

ホントは今日、
私参加する予定じゃなかったんですけど、
声かけたんですけど。

都合が悪くて、たまたま出れなくて。
 それで、その状態を見て、
 なんか気の毒になって、
 「じゃあ私3年目になるけどいいですか？」
 って言ったら、
 「いいですよ。ぜひ出てください」って言うんで出させていただきました。
 皆さん入って2・3年で、非常に素晴らしい意見を聞いてですね。
 僕も帰ってその意見を活かして、
 少しでも糸魚川のロータリークラブの運営の中で、
 活かしていきたいな、と思っております。
 先ほど出席率どうの、って話もありましたけど、
 やっぱり、出席しないと、気持ちのふれあいて、絶対できないんで、
 出席率を上げる工夫、これを第一にしていこうと思います
 今糸魚川の場合は、そういうことで夜を1回やろう、と。
 それで、昼を3回にしようとか、
 ということでやってきてるんですけど、
 やっぱり夜の参加率、ホントいいですね。
 勤務の時間帯に入ったりすればなかなか昼間出れないとか、
 そういう都合があるわけなんで、その辺を1回、会員に聞いてもらって、
 みんなが参加できるようなスタイルを
 もう1回作ればいいんじゃないかな、と思いました。
 とにかく、出席率は絶対大事だと思いますね。
 あとは、ふれあいですね。心のあったかい人が多いし、
 余裕がないとボランティア活動はできませんよね。
 ですから、見ていると、余裕がある方が多いんで、
 その中に僕らが溶け込んでですね、
 一緒に懇親やいろいろなことをしながら、
 また次のものを生んでいきたいな、と思っております。



長時間ご協力
 くださりありが
 とうございまし
 した。

新入会員 紹介 (敬称略)

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
新発田	荻野 晴也	2017.10.2	(株)坂りん	呉服販売業
中条	加藤 清司	2017.10.18	(有)加藤タイヤ商会	自動車部品販売
新潟南	小田 研	2017.9.13	(株)新潟テレビ21	テレビ放送業
新潟南	渡邊 裕導	2017.9.13	(株)サンケイ情報ファシリティ	ソフトウェア開発
新潟南	土沼 広芳	2017.10.25	(株)土沼企画	不動産管理
五泉	川上 裕一	2017.10.2	岡三にいがた証券(株)	証券業
長岡	磯部 賢諭	2017.10.3	医療法人社団太子会 キャッツこどもクリニック	小児科医
長岡	峰政 祐己	2017.10.3	吉乃川株式会社	清酒製造
長岡	島宗 隆一	2017.10.3	税理士法人 齋藤・島宗会計	税理士
雪国魚沼	山田 悟	2017.9.6	(株)山田興業	園芸業

11月地区の予定 【ロータリー財団月間】

2017年11月		地区主要行事	会場
18	(土)	ロータリー青少年交換長期派遣学生選考試験	クロスパル新潟
20	(月)	ロータリー財団地域セミナー	グランドニッコー東京 台場
21	(火)	第2回ガバナー会議	グランドニッコー東京 台場
21	(火)	RI 会長歓迎晩餐会	グランドニッコー東京 台場
21	(火)	メジャードナー午餐会	グランドニッコー東京 台場
21	(火)	第2回ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)	グランドニッコー東京 台場
21	(火)	ガバナーノミニー研修セミナー	グランドニッコー東京 台場
22~23	(水) ~ (木)	ロータリー研究会	グランドニッコー東京 台場
25	(土)	米山記念奨学生学友会総会・面接官オリエンテーション	ホテルオークラ新潟

11月ガバナー公式訪問日程表

2017年11月	ガバナー公式訪問	分区
1	(水) 水原	1
1	(水) 豊栄	1
2	(木) 五泉	3
2	(木) 阿賀野川ライン	3
7	(火) 新潟	2
9	(木) 加茂	4
13	(月) 村上岩船	1

2017年11月	ガバナー公式訪問	分区
14	(火) 田上あじさい	4
16	(木) 燕	4
17	(金) 吉田	4
27	(月) 新潟北	2
28	(火) 分水	4
29	(水) 新津	3

第2560地区 2017-18年度 9月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	9月末会員数	うち女性	増減
第1分区(9クラブ)	/	83.11	364	377	37	13
新発田	3	95.49	93	97	0	4
村上	4	81.08	37	38	9	1
水原	3	79.73	27	28	0	1
中条	4	97.86	34	35	3	1
新発田城南	4	73.42	41	43	4	2
豊栄	4	78.85	26	26	3	0
新発田中央	4	87.22	45	46	5	1
中条胎内	5	88.89	33	36	7	3
村上岩船	3	65.47	28	28	6	0
第2分区(9クラブ)	/	85.58	441	460	21	19
新潟	4	90.63	86	93	0	7
新潟東	5	78.67	62	63	9	1
新潟南	4	88.55	99	106	2	7
佐渡	4	89.30	7	7	0	0
新潟西	3	77.93	41	41	1	0
佐渡南	4	98.41	41	42	4	1
新潟北	3	76.97	43	43	0	0
新潟中央	4	86.00	24	25	0	1
新潟万代	3	83.76	38	40	5	2
第3分区(6クラブ)	/	73.79	122	122	7	0
新津	4	72.23	18	18	0	0
村松	4	82.95	11	11	0	0
五泉	4	76.15	17	15	2	-2
白根	4	86.42	37	37	2	0
新津中央	4	75.01	29	31	2	2
阿賀野川ライン	3	50.00	10	10	1	0
第4分区(11クラブ)	/	79.58	368	371	21	3
三条	4	83.19	57	60	0	3
燕	4	73.20	33	32	1	-1
加茂	4	81.89	29	28	4	-1
三条南	3	90.72	48	48	2	0
分水	3	89.13	31	30	3	-1
見附	4	70.00	20	21	1	1
吉田	4	84.84	33	33	2	0
三条北	4	85.00	64	65	2	1
巻	4	95.20	14	14	0	0
田上あじさい	4	46.90	7	8	1	1
三条東	3	75.27	32	32	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			7月1日現在	9月末会員数	うち女性	増減
第5分区(7クラブ)	/	85.70	314	325	22	11
長岡	4	86.27	39	44	1	5
柏崎	4	85.39	45	46	0	1
長岡東	4	89.80	66	70	4	4
柏崎東	2	92.16	50	50	4	0
栃尾	4	74.65	21	21	0	0
長岡西	4	83.49	57	58	5	1
柏崎中央	3	88.11	36	36	8	0
第6分区(6クラブ)	/	81.08	154	156	11	2
十日町	3	87.25	34	34	3	0
小千谷	4	72.40	38	39	5	1
雪国魚沼	4	70.80	25	26	2	1
十日町北	3	90.27	23	24	0	1
津南	3	87.17	27	26	1	-1
越後魚沼	4	78.56	7	7	0	0
第7分区(8クラブ)	/	85.86	320	322	27	2
高田	5	97.19	66	66	0	0
直江津	4	96.37	48	48	3	0
新井	4	77.25	29	30	3	1
糸魚川	4	92.86	42	42	3	0
高田東	3	76.32	38	38	3	0
糸魚川中央	5	87.06	34	34	0	0
頸北	4	76.80	14	15	1	1
越後春日山	4	82.99	49	49	14	0

クラブ数	56 クラブ
7月1日 会員数	2,083 人
9月末 会員数	2,133 人
女性会員数	146 人
純増減会員数	50 人
当月平均出席率	82.31 %





3年に一度、世界中全ての地区から代表議員がシカゴに集まり、規定審議会が開催されます。これは、ロータリーの組織運営にクラブの声を反映させる機会です。

今年から決議審議会が、毎年オンラインで開催されるようになりました。決議案とは、組織規定文書に記載されている事柄の範囲外で、RI理事会またはロータリー財団管理委員会による決定を求めるものです。また、ロータリー世界に影響を与える提案が求められています。今回世界から提案された決議案は38件で、そのうち19件が日本から提案されました。日本のロータリアンがいかに関心を持ち、今後のロータリーのことについて考え、意見を述べようとしているのか如実に物語っていると思われる。これからも規定審議会に関心を持ち続けて頂きますようお願い致します。

国際ロータリー理事エレクト 三木 明

地区・クラブ戦略計画立案の重要性

「地区・クラブ戦略計画の立案」「地区・クラブ会員基盤の向上・活性化」が様々な機会に唱えられてから既に多くの時間が経過致しました。皆様方の地区、或いはクラブの「戦略計画委員会」は発足してその役目を果たしているでしょうか？

「戦略計画委員会は何をしたら良いのか？」という声をしばしば耳に致します。ロータリークラブは、これまで単年度制で運営されてきましたが、これからは3年、或いは5年スパンの継続された目標を立て地区・クラブの運営を行い、双方の活性化を図ることが推奨されています。2016年4月の規定審議会においても「クラブの目的・目標を明確化する(16-06)」ということが決定しています。皆様方の企業は、縦系列の統治組織により継続的な中長期計画に基づいた事業の管理運営が可能であり、これが功を奏し事業が発展していると考えます。しかし、ロータリークラブの組織運営は各年度の理事会による単年度制であり、組織の中長期目標の立案・実施が極めて難しいのが現状です。故に、地区・クラブ戦略計画委員会、並びにそこで立案される中長期目標＝戦略計画、及びその実施が必要となってくる訳です。

地区戦略計画委員会は、地区の目標立案の大切なことですが、地区内各クラブに戦略計画委員会を設立するための支援、設立した後のフォローが大切な活動でしょう。

クラブ戦略計画委員会での検討項目は、①クラブの使命・価値観・VISION・魅力を見出し、中長期目標を立案・実施、②ロータリー学友など若い世代・女性会員の比率の向上・奉仕意欲のある退職者などの入会予定者の発掘を図り、会員増強・維持・これ以下対策を検討、③クラブの財政問題・運営方法の検討、④会員研修の方法、⑤会員参加型の奉仕活動のあり方の検討、⑥クラブ内外への広報活動のあり方、等が考えられます。

クラブ戦略計画委員会の運用時の留意点としては、①クラブ理事会がクラブの管理主体であり戦略計画委員会は諮問的立場である、②戦略計画は会員全員参加で立案、③戦略計画委員会は活動の進捗状況を理事会、会員に説明する責任がある、などでしょう。

地区・クラブ戦略計画委員会において、地区・クラブ中長期計画＝戦略計画を立案し、地区・クラブの更なる発展、また日本のロータリーが復活することを願います。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 高島 凱夫

ロータリー： 変化もたらす

第2710地区

ガバナー 藤中秀幸

「ロータリーの心で
地域の創生を！」

「ロータリーの元気は
地域の元気」

第2740地区

ガバナー 駒井英基

「地域社会にも
変革を！」

「公共イメージ向上」地域社会における広報活動

各クラブはそれぞれの地域社会で意義ある活動を毎年度幾つか進めておりますが、自分達の活動を一般社会へ広報し、ロータリーの存在を理解して貰うという意識が概して希薄であります。また殆どのクラブは報道機関との関係を持ち合わせておりませんから、第3ゾーン各地区では報道機関へのアクセスを維持している地区広報委員会がクラブに代わりマスメディア各社との取材折衝を支援することを推奨しております。最近ではクラブから地区委員会に対する取材依頼が徐々に増えているとの報告を各地区より受けております。

ところで、各クラブはクラブ定款上で「クラブの所在地域」を定めることになっておりますが、近年はその意識が、特に大都市に存在するクラブではかなり薄くなっています。これは会員候補者を出来るだけ広範囲の地域で見出したいという各クラブの会員増強上の思惑もあります。以前は各クラブがカバーする地域は、細かいところまで線引きが行われていました。クラブの所在地域は、英文定款では、「Locality of the Club」になっていました。その原文の響きからはロータリークラブの存在はローカル制であることが感じ取れます。

地方に存在するクラブは地域社会に密着した数々の活動を展開されておりますが、その活動が地方紙やTV局で広報されることは件数的には限られております。一方、市町村が毎月、或いは定期的に発行しております「市町村便り」に地元ロータリークラブの活動の様子が掲載されれば、地元クラブの会員増強や、RACやIACなど青少年活動の大きな支えになります。各クラブの所在地域での地方行政機関などとタイアップした広報活動は、マスメディア向けの広報以上に地域社会の人々と、その地域をベースにするロータリークラブの両方により良い効果を齎します。各クラブでこの様な地域社会に密着した広報への取り組みについてもご検討ください。

地域社会の活動に重点を置かれている本年度地区ガバナーお二人の活動スローガンを左のコラム内に記載させて頂きましたのでご参照ください。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山 守雄



ハイライトよねやま

Vol.211



御 礼

来年2月4日開催予定の財団設立50周年記念式典は、おかげさまで満席となりました。キャンセル待ちを含めて、すべての申込受付を終了しております。たくさんのお申し込みをいただき、心より感謝申し上げます。

よねやま親善大使が大活躍 in 熊本・静岡

熊本 よねやま親善大使・金福漢さんが8月25日、菊池郡大津町にある知的障がい児入所施設を訪れ、子どもたちと一緒に折り紙を楽しみました。韓国で大臣賞を受賞したこともある折り紙名人の金さんから、前号で報告した「感謝 in 熊本」への参加に合わせて何か有意義な活動をしたいという申し出を受け、第2720地区の永田壮一ガバナーのご尽力により、同施設での活動が実現しました。

当日は園児ら約40人が折り紙に熱中し、飛行機を飛ばし合ったり、折った作品を永田ガバナーにプレゼントする一幕もありました。金さんは、「今後、こうした方面で自分の活躍の場を広げていきたい」と、意欲を見せています。



静岡 9月16日～17日の二日間、「よねやま親善大使」の金福漢さん、于咏さん、スチッタ・グナセカラさんに静岡に集まっていただき、研修を行いました。9月16日は（公財）米山梅吉記念館の秋季例祭に出席。多くのロータリアン、地元の第2620地区米山学友会の役員と交流のひとつときを持ちました。翌17日は、当会広報委員の高野孫左エ門氏を講師にお迎えして研修会を開催。高野講師から、各自のプレゼンテーションにフィードバックを頂くと共に、ロータリーの構造、戦略計画、よねやま親善大使の役割等について講義を受けました。その後、記念館を再訪して、学芸員の市川真理さんに展示室のガイドツアーをしていただきました。



現よねやま親善大使の任期は、来年6月まで。それぞれ個性の異なるプレゼンテーションが好評です。ぜひ地区の行事などにお招きください。

寄付金速報 — 50周年の米山月間にご協力を！ —

9月までの寄付金は前年同期と比べて9.1%増（普通寄付金：3.1%増、特別寄付金：17.3%増）となりました。この3カ月間の寄付累計額としては16年ぶりに4億円の大き台に乗り、好調に推移しています。ロータリアン皆様からの

ご寄付に厚く御礼申し上げます。

今年の10月は財団設立50周年として記念となる米山月間です。今後とも引き続きご支援賜りますよう、益々のご協力をよろしくお願いたします。

50周年記念のネクタイ・スカーフ好評頒布中

財団設立50周年記念グッズとして制作したネクタイとスカーフ（いずれも2,500円、送料込）を好評頒布中です。よねやまのシンボルマークをあしらったデザインですので、地区米山奨学委員会でお揃いのネクタイを着用したいと購入される地区もあります。ネクタイには同布のポケットチーフがセットになっています。ネクタイは各種500本、スカーフは100枚限定ですので、ご希望の方はお早めにお申し込みください。お申し込み方法は、①米山奨学会ホームページの50周年特設ページからWebで申し込む

②米山月間資料の50周年グッズご案内チラシをFAXのいずれかです。

また、50周年記念誌（1冊1,800円、送料込）も、ホームページから注文することができます。皆さまからのご注文をお待ちしています！



高校生との多文化交流！

日本の高校生と米山奨学生・学友との交流イベントが9月30日、東京都立小平高校で開催されました。

この国際交流会は毎年、東京米山友愛RC（第2750地区）が主催しているもので、今年は奨学生・学友44人、東京米山友愛RCと東京米山ロータリーEクラブの会員17人、ほかロータリアンなど計82人が集まり、第2580地区からも奨学生・ロータリアンが参加して交流しました。

国際交流会では、海外修学旅行を目前に控えた2年生への中国語講座のほか、14の国と地域からの奨学生・学友が自国の紹介をしたり、高校生からの質問に答えたりするなど、互いが異文化に接する貴重な時間となりました。

企画者である東京米山友愛RCの朴貞子会員（2006-08/岸和田RC）は、「毎年、参加者集め

— 東京米山友愛RC —

に苦労しています。日本の高校生との交流は貴重な体験。ぜひ多くの人に参加してもらえれば」と、呼び掛けます。当日、飛び入り参加をしたよねやま親善大使の于咏さんは、「日本の高校生に自分たちの国を知ってもらうすばらしい企画。男の子はちょっと大人しく、女の子の方がエネルギーギッシュで将来の目標もしっかりしていて、頼もしいですね」と、感想を述べました。



年末年始に開催される、海外米山学友会総会のご案内

韓国 2017年**11月18日（土）** 18:00～22:00

会場：Lotte City Hotels MyeongDong 2F Villa de Chalotte

申込：yoneyama@hanmail.net（総務：元賢喜）へ 申込締切10月31日（火）まで

台湾 2017年**12月2日（土）** 受付15:00～（総会15:30～、懇親会18:00～）

会場：サンライズゴルフクラブ（桃園揚昇高爾夫球場）

申込：日本ロータリアン→当会事務局 武本まで。学友・奨学生→rotary_yoneyama@yahoo.com.twへ

中国 2018年**1月6日（土）** 10:00～15:00

会場：上海市外灘付近（登録人数により後日決定） 申込：日本ロータリアン→当会事務局 武本まで。

学友・奨学生→liu.jingrong@qq.com（会長：劉京榕）とzhoufeng@tj-mzs.com（副幹事長：周峰）へ

平成29年10月25日

ガバナー各位

ロータリー文庫運営委員会
委員長 大塚信郎

拝啓

菊花の候、貴ガバナーはじめスタッフの皆様には益々ご健勝にてご活躍の事とお慶び申し上げます。また常々文庫へのご協力を心から感謝致しております。このたびは、下記9点をご紹介しますので「ガバナー月信」にご掲載下さるようお願い致します。

なお今後ともご活躍とご成功を心からお祈り致しております。

敬具

追伸 下記ご掲載の場合は〔申込先〕もご記載下さるようお願い致します。

文庫通信 (362号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリーの精神

- ◎ 「ロータリーの精神」 ビチャイ・ラタクル 2017 6p
(D.2680地区大会記録誌)
- ◎ 「奉仕の理想と自利利他と黄金律」 吉田雅俊 2017 1p
(D.2580月信)
- ◎ 「一業一会員制と親睦の関係」 玉井清治 2017 1p (D.2510月信)
- ◎ 「ロータリーの魅力—元R.I.理事今井鎮雄、ロータリーを語る」
神戸西R.C. 2004 [178p]
- ◎ 「ロータリーの社会奉仕」 武田和夫 2011 2p (航跡IV)
- ◎ 「ロータリーからのプレゼント」 長崎南R.C. 1998 8p
- ◎ 「世界中でよいことをしてきた100年—ロータリー財団100周年記念イベント特集」
D.2770 2017 31p
- ◎ 「ポリオ・プラス活動15年の歩み」 中井義尚 D.2640 2001 36p
- ◎ 「ロータリーデー」 D.2770 [2015] 39p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2560

国際ロータリー第 2560 地区 2017-18 年度ガバナー事務所

〒951-8053 新潟市中央区川端町 6-53 ホテルオークラ新潟
TEL: 025-222-2561 FAX: 025-222-2565 E-mail: k.shinbo@rid2560niigata.jp
ホームページ URL <http://www.rid2560niigata.jp/>